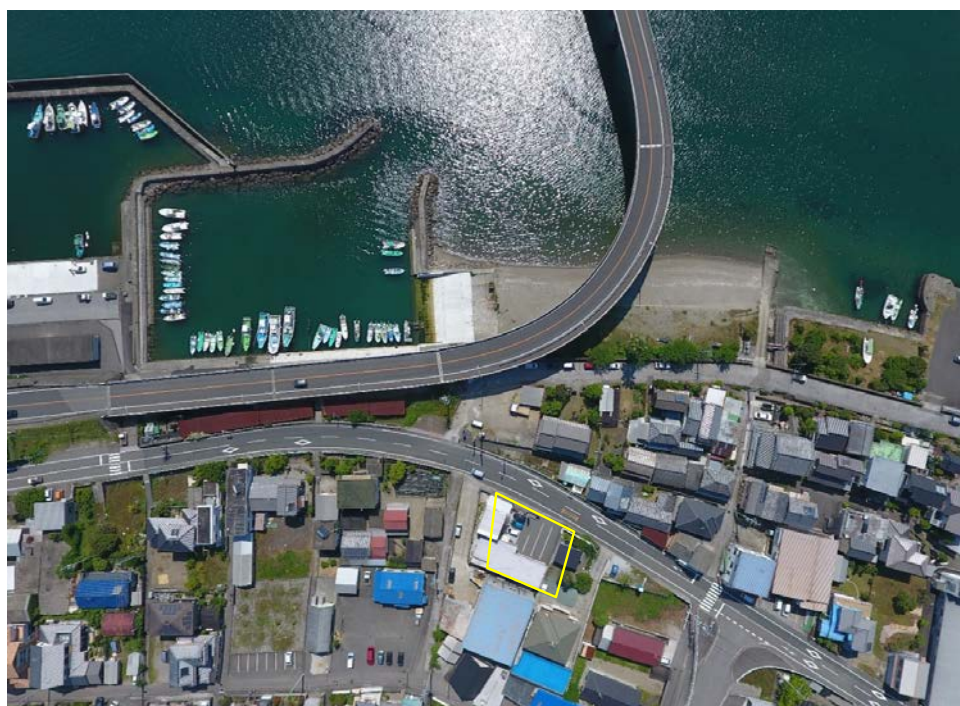


エコアクション21

環境活動レポート



(期間平成30年5月～平成31年4月)

令和1年6月1日



高知県土佐市宇佐町宇佐2827番地8

TEL088-856-2422

HP <http://ryusho-kochi.jp/>

目次	頁
1. 組織の概要	3
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポート対象期間及び発行日	4
3. 環境方針	5
4. 環境管理組織体制	6
5. 環境目:	7 ~ 8
6. 環境目:	9
7. 工事別環境目標と実績	10 ~ 15
8. 環境活動計画の取組結果とその評価	16 ~ 17
9. 次年度の環境活動計画の取組内容	18 ~ 19
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	20
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	21
社会貢献清掃活動等	22
環境に配慮した工事に使用した建設機械	23

発 行 日 : 令和1年6月1日

発 行 責 任 者 : 環境管理責任者 近澤靖友

次 回 発 行 予 定 : 令和2年6月頃

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社龍生
リュウショウ

代表取締役社長 近澤 克昌
チカザワ ヨシマサ

- 本社 〒781-1161 高知県土佐市宇佐町宇佐2827番地8
倉 〒781-1161 高知県土佐市宇佐町宇佐2839番地8
資 〒781-1161 高知県土佐市宇佐町宇佐64・65番地
室戸営 〒781-7102 高知県室戸市室津1690番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：近澤靖友 TEL：088-856-2422 FAX：088-856-2291

連絡担当者：大出順一 TEL：088-856-2422 FAX：088-856-2291
メールアドレス：rvusho@sage.ocn.ne.jp

(4) 事業内容（総合建設業）

土木工事施工管理・のり面工事施工管理・港湾工事施工管理

船舶部門

- 所有船舶 第二天将丸起重機船 吊能力（120t） グラブ浚渫能力（10m³）
第二号台船天将丸 積載能力（1000t）
第三号台船天将丸 積載能力（300t）
1001龍生丸 土運搬船 積載能力（1100m³）
第68龍王丸浚渫船 グラブ浚渫能力（22m³）主に県外で下請けで使用

(5) 事業の規模

設立年月日 昭和48年9月14日
資本金 3,360万円
年間売上高 959百万円（平成31年4月/46期）
従業員数 35人（H31年4月末現在）
建物延べ 108m²（本社）48m²（室戸営業所）合計156m²
倉庫延べ床面積 233.86m²
資材置場延べ床面積 1320m²

(6) 許可関係

①特定建設業 許可 高知県知事許可(特-28)第002453号
許可番号 平成28年9月22日
許可年月日 平成28年10月9日から平成33年10月8日
許可の有効期間 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、
建設業の種類 ほ装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業

②特定建設業 許可追加
許可番号 高知県知事許可(特-29)第002453号
許可年月日 平成29年9月28日
許可の有効期間 平成29年9月28日から平成34年9月27日
建設業の種類 解体工事業

③産業廃棄物収集運搬業許可
許可番号 高知県知事許可番号03900132470
許可年月日 新規許可平成18年12月8日・更新許可平成28年12月8日
許可の有効期間 平成28年12月8日から平成33年12月7日
(自社における施工のみ)

(7) 事業年 平成30年5月～平成31年4月（46期）

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

対象範囲 : 全社・全活動・全組織

登録組織名 : 株式会社龍生:本社、倉庫、資材置場、室戸営業所

活動 : 土木工事全般及び船舶部門

【レポート対象期間】

平成30年5月～平成31年4月

【環境活動レポート発行】

令和1年6月1日

【作成責任者】

環境管理責任者 近澤靖友

3. 環境方針

株式会社龍生 環境方針

《基本理念》

株式会社龍生は、建設工事の事業活動において、自然環境の保全並びに循環型社会に貢献するとともに、環境への負荷を低減・改善することで自社からのCO₂排出量の削減に継続的に努め「安全・安心な環境づくり」を推進してまいります。

《行動指針》

1. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、次の項目を重点的に
 - ① 電気・化石燃料使用量の節減による二酸化炭素排出量の削減。
 - ② 建設現場・事務所から排出される一般廃棄物の削減及び産業廃棄物のリサイクル推進。
 - ③ 節水活動による総排水量の削減。
 - ④ 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進しま
 - ⑤ 環境に配慮した工事の実施（施工方法及び騒音・振動・粉塵等低減・二酸化炭素排出量の削減）。
 - ⑥ 海洋汚染等を防ぎ環境保全活動を推進します。
 - ⑦ 地域清掃やロードボランティア・海岸パートナーシップに参加します。
2. 当社の事業活動に関連する法令、条例、その他を遵守します。
3. 全従業員にこの環境方針を周知し、全社をあげて取り組んでまいります。
4. 環境活動レポート等により、環境情報は広く外部公表いたします。

制定日：平成22年10月30日

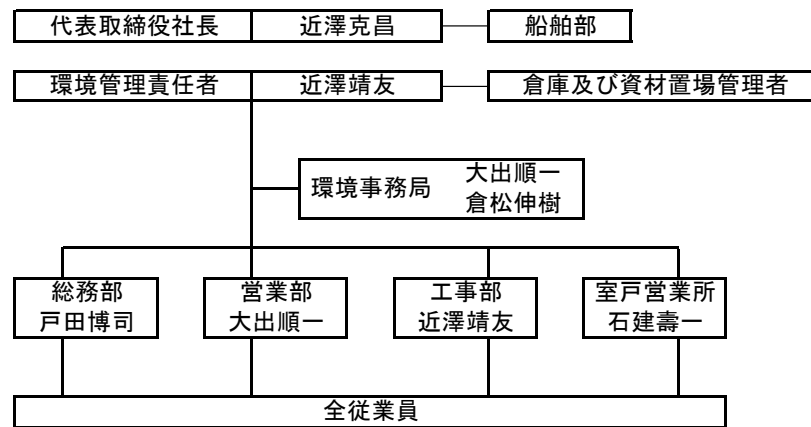
改正日：平成28年8月10日

株式会社 龍 生

代表取締役社長

近澤 克昌

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限

- | | |
|-------------|---|
| 代表取締役
社長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ EA21に関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ・ EA21の実施及び管理に必要な資源を用意する。資源には、人的資源、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。 ・ 環境管理責任者を任命する。 ・ 環境方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施する。 |
| 環境管理
責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ EA21を構築し、実施し、管理する。 ・ 環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し、承認する。 ・ 法規制等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。 ・ 環境目標を設定し、環境活動計画を確認し承認する。 ・ 環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価する。 ・ 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 |
| 環境
事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の事務局。 ・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。 ・ 「環境関連法規等の取りまとめ／遵守チェック表」原案の作成。 ・ 環境目標原案の作成。 ・ 環境活動計画原案作成。 ・ 環境活動実績集計。 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 |
| 各部門長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門におけるEA21の実施。 ・ 自部門における環境方針の周知。 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ・ 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録。 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事現場におけるEA21の実施。 ・ 工事現場に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・ 工事現場における環境負荷低減活動の実施及び緊急事態対応。 |

5. 環境目標

・平成25年26年27年の3ヶ年平均を基準として平成30年5月から平成31年4月までに3%の削減を目標とする。

単年度目標

☆環境目標・事務所

項目	基準 (H25年～H27年) 3ヶ年平均	30年度目標 (3%削減) H30.5～H31.4
燃料使用量 (ℓ)	9,439	9,156
LPGガス使用量 (kg)	1,016	986
電力使用量 (kwh)	37,337	36,217
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	51,064	49,532

※電力のCO₂排出量については、四国電力の実排出係数 (0.699kg-CO₂/KWh) を使用した。

排水量 (m ³)	291.0	282.3
一般廃棄物排出量 (kg)	361	350
グリーン購入量	全品目55%購入	全品目58%購入
社会貢献清掃活動	29	28

※社会貢献活動：高知県管轄道路清掃(1回/月)土佐市管轄道路清掃(1回/月)
国土交通省管轄(岸清掃(5回/年)合計=29回

☆環境目標・現場

項目	基準 (H25年～H27年) 3ヶ年平均	30年度目標 (3%削減) H30.5～H31.4
燃料使用量 (ℓ)	289,363	280,682
LPGガス使用量 (kg)	146	142
電力使用量 (kwh)	5,986	5,806
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	768,453	745,399
排水量 (m ³)	488.5	473.8
産業廃棄物排出量 (t)	1,954	1,895
産業廃棄物再資源化率 (%)	100	100
環境に配慮した工事の実施	全数	全数

CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂) 合計(事務所+現場)	819,517	794,931
--	---------	---------

(社会貢献清掃活動)

※ロードボランティア清掃活動及び海岸パートナーシップ清掃活動は現場、事務所の合同で行います。

中長期目標（年度期間5月～4月）

基準値変更でH28年度より毎年1%の積上げ削減目標とします。

【事務所】

項目	25.26.27年	H 29 年度		H 30 年度		R 1 年度		R 2 年度		R 3 年度	
	3ヶ年平均 基準	目標 2 %削減		目標 3 %削減		目標 4 %削減		目標 5 %削減		目標 6 %削減	
燃料使用量 (㊦)	9,439	9,250		9,156		9,061		8,967		8,873	
LPGガス使用量 (kg)	1,016	996		986		975		965		955	
電力使用量 (kWh)	37,337	36,590		36,217		35,844		35,470		35,097	
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	51,064	50,043		49,532		49,021		48,511		48,000	
排水量 (m ³)	291.0	285.2		282.3		279.4		276.5		273.5	
一般廃棄物排出量 (kg)	361	354		350		347		343		339	
グリーン購入量 (事務用品及び資材)	全品目 55 % 購入	全品目 57 % 購入	全品目 58 % 購入	全品目 59 % 購入	全品目 60 % 購入	全品目 61 % 購入					
社会貢献清掃活動 高知県管轄道路清掃 (1回/月)	12	12		12		12		12		12	
社会貢献清掃活動 国土交通省管轄 海岸清掃 (4回/年)	5	5		5		5		5		5	
社会貢献清掃活動 土佐市管轄道路清掃 (1回/月)	12	12		12		12		12		12	
社会貢献清掃活動合計	29	29		28		29		29		29	

※グリーン購入量は平成28年度（55%）から購入増加率を前年度1%の増加で推移し、エコ商品の普及状況等で見直しをする。また全体の購入数の内3品目以上はグリーン製品とする。

【現場】

項目	25.26.27年	H 29 年度		H 30 年度		R 1 年度		R 2 年度		R 3 年度	
	3ヶ年平均 基準	目標 2 %削減		目標 3 %削減		目標 4 %削減		目標 5 %削減		目標 6 %削減	
燃料使用量 (㊦)	289,363	283,576		280,682		277,788		274,895		272,001	
LPGガス使用量 (kg)	146	143		142		140		139		137	
電力使用量 (kWh)	5,986	5,866		5,806		5,747		5,687		5,627	
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	768,453	753,084		745,399		737,715		730,030		722,346	
排水量 (m ³)	488.5	478.7		473.8		469.0		464.1		459.2	
産業廃棄物排出量 (t)	1,954	1,915		1,895		1,876		1,856		1,837	
産業廃棄物再資源化 (%)	100	100		100		100		100		100	
環境に配慮した工事の実施 (件)	元請全工事	元請全工事		元請全工事		元請全工事		元請全工事		元請全工事	
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂) 合計 (事務所+現場)	819,517	803,127		794,931		786,736		778,541		770,346	

※環境に配慮した工事の実施については元請工事を対象としています。

※中長期的な目標を設定しておりますが、市場の状況によって基準年及び基準値を見直します。

6. 環境目標の実績

☆環境目標及び実績(平成30年5月～平成31年4月)

「事務所」

項目	25. 26. 27年度 3ヶ年平均 基準	30年度目標 (3%削減) H30. 5～H31. 4	30年度 実績 H30. 5～H31. 4	30年度 削減率% H30. 5～H31. 4
燃料使用量 (ℓ)	9, 439	9, 156	10, 520	14. 9
LPGガス使用量 (kg)	1, 016	986	933	▲ 5
電力使用量 (kWh)	37, 337	36, 217	27, 783	▲ 23
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	51, 064	49, 532	43, 578	▲ 12
排水量 (m ³)	291. 0	282. 3	241. 0	▲ 15
一般廃棄物排出量(kg)	361	350	270	▲ 23
達成率%				
グリーン購入量 (3品目以上)	全品目55%購入	全品目58%購入	全品目58%購入	114
社会貢献清掃活動(回)	29	29	28	97

※削減率=(実績-目標)÷目標×100

※グリーン購入はグリーン品目÷全購入品目×100 ※目標は3ヶ年平均(55%)の1%削減とする。

※社会貢献清掃活動は現場、事務所の合同で行います。(ロードボランティア)

※社会貢献清掃活動は実績÷目標×100

※社会貢献活動：高知県道路清掃(1回/月)土佐市道路清掃(1回/月)国土交通省(海岸清掃(5回/年)合計=29回

☆環境目標及び実績(平成30年5月～平成31年4月)

「現場」

項目	25. 26. 27年度 3ヶ年平均 基準	30年度目標 (3%削減) H30. 5～H31. 4	30年度 実績 H30. 5～H31. 4	30年度 削減率% H30. 5～H31. 4
燃料使用量 (ℓ)	289, 363	280, 682	286, 907	2
LPGガス使用量 (kg)	146	142	100	▲ 29
電力使用量 (kWh)	5, 986	5, 806	3, 895	▲ 33
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	768, 453	745, 399	766, 100	3
排水量 (m ³)	488. 5	474	143. 0	▲ 70
産業廃棄物排出量(t)	1, 954	1, 895	941. 6	▲ 50
産業廃棄物再資源化率(%)	100	100	100	100
達成率%				
環境に配慮した 工事の実績(件)		元請工事を対象と しています。	元請工事全数 (8/8)	100
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)合計 (事務所+現場)	819, 517	803, 127	809, 678	1

全工事が対象であるが、環境に配慮する工事は元請を対象とする。(H25年度より実施) 対象工事÷全体工事×100%=達成率

☆CO₂排出量の推移

項目	単位	年度							
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
売上高	百万円	946	1, 376	1, 144	1, 014	1, 002	959		
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1, 022	730	678	867	613	809		
売上高百万円当 たりのCO ₂ 排出 量原単位	t-CO ₂ / 百万円	1. 080	0. 531	0. 592	0. 855	0. 612	0. 844		

※電力のCO₂排出量については、四国電力の実排出係数(0. 699kg-CO₂/kwh)を使用した。

※H25. H26年度については、電力事業者別のCO₂排出係数の実排出係数(0. 407kg-CO₂/Kwh)を使用しているが3年間の平均値については(0. 699kg-CO₂/Kwh)を使用し平均化しています。

7. 工事別環境目標及び実績

工 事 名 道交地防災（防災）第107-067-3号
県道須崎仁ノ線防災・安全交付金工事

工 期 H29.12.20 ~ H30.7.2

場 所 高知県土佐市新居

概 要 斜面補強

契約金額 102 百万円

☆環境目標（現場内で使用するもの）

項目	使用予定量	目標 3%削減	実績	削減率(%)	達成手段
使用燃料	1,515.3	1,469.8	1,171.6	-20.3	1. アイドリングストップ 2. 過負荷の防止 3. エコドライブ
ガソリン (ℓ)	25.8	25.0	46	83.0	
軽油 (ℓ)	1,489.5	1,444.8	1,126	-22.1	
灯油 (ℓ)			20		
電気量 (kW/h)			89.0		
CO ₂ 排出量 (Kg-CO ₂)	3,968.9	3,849.8	3,172.9	-17.6	
ガソリン (ℓ)	59.9	58.1	106.3	83.0	
軽油 (ℓ)	3,909.0	3,791.7	2,954.5	-22.1	
灯油 (ℓ)			49.8		
電気量 (kW/h)			62.2		
鋼材 t	1.0		1.3		
生コンクリート量m ³	0.5		0.7		
アスファルト量 t	8.0		10		
セメントt	198.0		212.8		
産業廃棄物排出量					
コンクリート殻m ³	110.0		135.4		再資源化率 (100%)
アスファルト殻m ³	20.0		32.6		"
木・根かぶt	1.0		1.80		"

電気量 (kg-CO₂) 使用量 (kW/h) × 0.699 = kg-CO₂/kWh

ガソリン 使用量 (ℓ) × 0.0671 (kg-CO₂/MJ) × 34.6 (MJ/kg) = kg-CO₂

軽油 使用量 (ℓ) × 0.0687 (kg-CO₂/MJ) × 38.2 (MJ/kg) = kg-CO₂

灯油 使用量 (ℓ) × 0.0679 (kg-CO₂/MJ) × 36.7 (MJ/kg) = kg-CO₂

達成率 (実績-目標)/目標 × 100

※毎日、作業前打合せ時に上記達成手段を確認する。

結果と評価

- ①目標は達成できた。
- ②休憩時間及び不要な時間はエンジンを停止した。
- ③休憩所及び現場事務所も室内にいないときは電源オフも徹底した。
- ④余裕を持った工程で予定工程を1ヶ月ほどまえに工事は完了した。

※電力のCO₂排出量については、電力事業者別のCO₂排出係数（2014年12月公表）の四国電力の実排出係数（0.699 kg-CO₂/kwh）を使用した。

環境に配慮した現場使用機械



NETIS登録・超低騒音バックホウ



低騒音・排出ガス対策型 発電機



低騒音・排出ガス対策型 コンプレッサー

工事別環境目標及び実績

工 事 名 漁高潮第926-2-1号
宇佐漁港海岸（竜地区）高潮対策工事

工 期 H30. 4. 6 ～ H30. 10. 22

場 所 高知県土佐市宇佐町竜

概 要 防波堤耐震補強工事

契約金額 91 百万円

☆環境目標（現場内で使用するもの）

項目	使用予定量	目標 3%削減	実績	削減率(%)	達成手段
使用燃料	15,895.6	15,418.7	14,638.0	-5.06	1. アイドリングストップ 2. 過負荷の防止 3. エコドライブ
ガソリン (ℓ)	5.6	5.4	48.5	792.86	
軽油 (ℓ)	15,890.0	15,413.3	14,589.5	-5.34	
電気量 (kW/h)					
CO ₂ 排出量 (Kg-CO ₂)	78,591.9	76,234.2	72,159.7	-5.34	
ガソリン (ℓ)	36,891.2	35,784.4	33,871.9	-5.34	
軽油 (ℓ)	41,700.8	40,449.7	38,287.8	-5.34	
電気量 (kW/h)			0.0		
使用材料					
鋼矢板 t	91.0		92.60		
生コンクリート量m ³	40.0		44.00		
アスファルト量 t	0.0		0.0		
砕石量t	0.0		0.0		
産業廃棄物排出量					
コンクリート殻m ³	20.0		38.5		
アスファルト殻m ³	0.0		0.0		
木、根、株 t	0.0		0.5		

電気量 (kg-CO₂) 使用量(kW/h) × 0.699=kg-CO₂/kWh
 ガソリン 使用量(l) × 0.0671 (kg-CO₂/MJ) × 34.6 (MJ/kg) =kg-CO₂
 軽油 使用量(l) × 0.0687 (kg-CO₂/MJ) × 38.2 (MJ/kg) =kg-CO₂
 灯油 使用量(l) × 0.0679 (kg-CO₂/MJ) × 36.7 (MJ/kg) =kg-CO₂
 達成率 (実績-目標)/目標 × 100
 ※毎日、作業前打合せ時に上記達成手段を確認する。

結果と評価

- ①目標は達成できた。
 ②現場の地盤が軟弱で鋼管杭の打ち込みがスムーズにでき予定より5日短縮できた。

※電力のCO₂排出量については、電力事業者別のCO₂排出係数（2014年12月公表）の四国電力の実排出係数（0.699 kg-CO₂/kwh）を使用した。

環境に配慮した現場使用機械



90tクローラークレーン・排出ガ対策・低騒音



排出ガス対策型ジャイロパイラー



低騒音・排出ガス対策型 発電機

工事別環境目標及び実績

工 事 名 漁高潮第26-2-8号
宇佐漁港海岸（竜地区）高潮対策工事

工 期 H30.7.13 ～ H31.2.2

場 所 高知県土佐市宇佐町竜

概 要 防波堤耐震補強

契約金額 96 百万円

☆環境目標(現場内で使用するもの)

項目	使用予定量	目標 3%削減	実績	削減率(%)	達成手段
使用燃料	15,497.5	15,032.6	15,054.3	0.14	1. アイドリングストップ 2. 過負荷の防止 3. エコドライブ
ガソリン (ℓ)	8.0	7.8	55.8	619.07	
軽油 (ℓ)	15,489.5	15,024.8	14,998.5	-0.18	
電気量 (kW/h)					
CO ₂ 排出量 (Kg-CO ₂)	76,611.1	74,312.7	74,182.6	-0.18	
ガソリン (ℓ)	35,961.4	34,882.5	34,821.4	-0.18	
軽油 (ℓ)	40,649.7	39,430.2	39,361.2	-0.18	
電気量 (kW/h)			0.0		
使用材料					
鋼管杭 t	80.0		89.0		
生コンクリート量 m ³	0.0		0.0		
アスファルト量 t	0.0		0.0		
砕石量 t	0.0		0.0		
産業廃棄物排出量					
コンクリート殻 m ³	13.0		16.0		
アスファルト殻 m ³	0.0		0.0		
木、根、株 t	1.0		2.3		

電気量 (kg-CO₂) 使用量 (kW/h) × 0.699 = kg-CO₂/kWh
 ガソリン 使用量 (ℓ) × 0.0671 (kg-CO₂/MJ) × 34.6 (MJ/kg) = kg-CO₂
 軽油 使用量 (ℓ) × 0.0687 (kg-CO₂/MJ) × 38.2 (MJ/kg) = kg-CO₂
 灯油 使用量 (ℓ) × 0.0679 (kg-CO₂/MJ) × 36.7 (MJ/kg) = kg-CO₂
 達成率 (実績-目標)/目標 × 100

※毎日、作業前打合せ時に上記達成手段を確認する。

結果と評価
①目標は達成できた。 ②予定の工程よりも早く施工が完了できた。 ③現場の地盤が軟弱で鋼管杭の打ち込みがスムーズにでき予定より3日短縮できた。

※電力のCO₂排出量については、電力事業者別のCO₂排出係数（2014年12月公表）の四国電力の実排出係数（0.699 kg-CO₂/kwh）を使用した。

環境に配慮した現場使用機械



低騒音・排出ガス対策型 バックホウ



低騒音・排出ガス対策型 25tラフターク



低騒音・排出ガス対策型 バックホウ

8. 環境活動計画の取組結果とその評価

期間：平成30年度（平成30年5月～平成31年4月）

（事務所）

（達成状況・評価チェック：8月・11月・2月・5月）

重要テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール 5月・・・4月	達成状況・是正 各部門長				評価/指示 (環境管理責任者)
				Q1	Q2	Q3	Q4	
環境目標	CO ₂ 排出量の削減	代表取締役 社長	→	×	◎	◎	◎	○/続けて努力
	排水量の削減		→	◎	×	◎	◎	○/続けて努力
	一般廃棄物排出量の削減		→	◎	◎	◎	◎	×/出来ていない
	グリーン調達の推進		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行

環境活動計画

電力使用量削減	不要な照明の消灯	総務部長	→	×	◎	◎	◎	○/続けて努力
	休憩時間帯の消灯		→	△	◎	◎	◎	○/続けて努力
	プリンター、コピー機の夜間電源OFF		→	×	◎	◎	◎	○/続けて努力
	空調温度の適正化(冷暖房25℃設定)		→	○	◎	◎	◎	◎/続けて励行
燃料使用量削減	休憩時間のエンジントップ	営業部長	→	○	○	○	○	○/続けて努力
	アイドリングストップ		→	×	△	○	○	△/意識して励行
	急加速・急停車の防止		→	×	×	△	○	△/意識して努力
	エコ安全ドライブ		→	△	×	△	○	×出来ていない
	低燃費車への切替の検討		→	×	×	×	×	×/代替無
排水量削減	水道蛇口のコマめな開閉	総務部長	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	節水を呼び掛ける		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	水道配管からの漏水チェック		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
一般廃棄物排出量削減	コピーの失敗を削減	総務部長	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	裏紙を活用する		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	印刷用紙の削減		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
グリーン購入推進	エコ商品の購入拡大	総務部長	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
社会貢献 清掃活動	会社周辺の清掃美化活動	全員	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行

※達成状況◎充分出来ている ○ほぼ出来ている △未だ不十分 ×出来ていない

【総合評価】

- ①今年度は燃料消費量が大幅に増大した、遠方への活動が多かったのが原因と思われる。
- ②エコカー代替えについては対象車両が無かった。
- ③一般廃棄物については印刷物の失敗が少なく、各人がプレビュー機能を積極的に使い、大幅削減につながった。
- ④グリーン購入推進についても、最近の商品がほとんどエコ商品になっている。
- ⑤排水量は目標をクリアし、今後も励行して節水に努力をする。

期間：平成30年度（平成30年5月～平成31年4月）

（現場）

（達成状況・評価チェック：8月・11月・2月・5月）

重要テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール 5月・・・4月	達成状況・是正				評価/指示 (環境管理責任者)
				各部門長				
				Q1	Q2	Q3	Q4	
環境目標	CO ₂ 排出量の削減	代表取締役 社長	→	×	×	×	×	×/原因究明し改善
	排水量の削減		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	産業廃棄物排出量の削減		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	環境に配慮した工事の実施		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行

環境活動計画

電力使用量削減	不要な照明の消灯	現場 責任者	→	×	×	○	◎	×/意識を持つよう指導
	休憩時間帯の消灯		→	×	×	○	◎	×/意識を持つよう指導
	プリンター、コピー機の夜間電源OFF		→	△	△	○	◎	○/続けて管理
	空調温度の適正化(冷暖房25℃設定)		→	△	×	○	◎	×/適切な温度管理を指導
燃料使用量削減	休憩時間のエンジントップ	現場 責任者	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	重機の過負荷の防止		→	×	×	×	×	×/朝礼時に指導
	アイドリングストップ		→	×	×	○	◎	△/朝礼時に指導
	急加速・急停車の防止		→	×	△	△	○	△/朝礼時に指導
	エコ安全ドライブ		→	×	△	△	○	△/朝礼時に指導
排水量削減	水道蛇口のこまめな開閉	現場 責任者	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	節水を呼び掛ける		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	水道配管からの漏水チェック		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
産業廃棄物排出 量削減	マニフェストによる適正処理	現場責任者	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	再生、再利用の推進		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	廃棄物分別の徹底		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
船舶関係 海洋汚染防止	油の排出の禁止	船長	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	有害液体物質の排出の禁止		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	海洋汚染の防止設備チェック		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	エコ操船		→	×	×	×	×	×/意識を持つよう指導
社会貢献 清掃活動	会社周辺の清掃美化活動	全員	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
環境に配慮した 工事の実施	施工方法及び騒音・振動・粉塵等低減・二酸化炭素排出量の削減	全員	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行

※達成状況

◎充分出来ている ○ほぼ出来ている △未だ不十分 ×出来ていない

【総合評価】

①燃料消費量増大に伴い二酸化炭素の排出量の増大となった原因の一つは船舶使用量が増大し、回航・えい航回数が増えたため、回航・えい航回数が例年より多かったために重油使用量が大幅に増えた原因である。（船底に付着している貝等を除去し負荷を軽減させるよう整備を行う）
他の化石燃料については目標をクリアしているのでこのまま継続
②その他の項目はほぼ削減目標をクリアしているのでこのまま継続

9. 次年度の環境活動計画の取組内容

期間：令和1年度（令和1年5月～令和2年4月）

（事務所）

（達成状況・評価チェック：8月・11月・2月・5月）

重要テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール 5月・・・4月	達成状況・是正				評価/指示 (環境管理責任者)
				各部門長				
				Q1	Q2	Q3	Q4	
環境目標	CO ₂ 排出量の削減	代表取締役 社長	→					
	排水量の削減		→					
	一般廃棄物排出量の削減		→					
	グリーン調達の推進		→					

環境活動計画

電力使用量削減	不要な照明の消灯	総務部長	→					
	休憩時間帯の消灯		→					
	プリンター、コピー機の夜間電源OFF		→					
	空調温度の適正化(冷暖房25℃設定)		→					
燃料使用量削減	休憩時間のエンジントップ	営業部長	→					
	アイドリングストップ		→					
	急加速・急停車の防止		→					
	エコ安全ドライブ		→					
排水量削減	水道蛇口のコマメな開閉	総務部長	→					
	節水を呼び掛ける		→					
	水道配管からの漏水チェック		→					
一般廃棄物排出量削減	コピーの失敗を削減	総務部長	→					
	裏紙を活用する		→					
	印刷用紙の削減		→					
グリーン購入推進	エコ商品の購入拡大	総務部長	→					
社会貢献 清掃活動	会社周辺の清掃美化活動	全員	→					

※達成状況

◎充分出来ている ○ほぼ出来ている △未だ不十分 ×出来ていない

【総合評価】

--

期間：令和1年度（令和1年5月～令和2年4月）

（現場）

（達成状況・評価チェック：8月・11月・2月・5月）

重要テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール 5月・・・4月	達成状況・是正				評価/指示 (環境管理責任者)
				各部門長				
				Q1	Q2	Q3	Q4	
環境目標	CO ₂ 排出量の削減	代表取締役 社長	→					
	排水量の削減		→					
	産業廃棄物排出量の削減		→					
	環境に配慮した工事の実施		→					

環境活動計画

電力使用量削減	不要な照明の消灯	現場 責任者	→					
	休憩時間帯の消灯		→					
	プリンター、コピー機の夜間電源OFF		→					
	空調温度の適正化(冷暖房25℃設定)		→					
燃料使用量削減	休憩時間のエンジンストップ	現場 責任者	→					
	重機の過負荷の防止		→					
	アイドリングストップ		→					
	急加速・急停車の防止		→					
	エコ安全ドライブ		→					
排水量削減	水道蛇口のコマめな開閉	現場 責任者	→					
	節水を呼び掛ける		→					
	水道配管からの漏水チェック		→					
産業廃棄物排出 量削減	マニフェストによる適正処理	現場責任者	→					
	再生、再利用の推進		→					
	廃棄物分別の徹底		→					
船舶関係 海洋汚染防止	油の排出の禁止	船長	→					
	有害液体物質の排出の禁止		→					
	海洋汚染の防止設備チェック		→					
	エコ操船		→					
社会貢献 清掃活動	会社周辺の清掃美化活動	全員	→					
環境に配慮した 工事の実施	施工方法及び騒音・振動・粉塵等低減・二酸化炭素排出量の削減	全員	→					

【総合評価】

--

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適応条項	具体的内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務	○
		事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理	○
		産業廃棄物の委託契約	○
		多量排出業者は計画の実施状況を都道府県知事に報告	○
第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	○	
第12条の三七項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事への提出	○	
産業廃棄物保管基準	第8条	周囲に囲いが設けられていること。見やすい箇所に掲示板が設けられていること。縦及び横それぞれ六十センチメートル以上であること。掲示板には産業廃棄物の保管の場所、保管する産業廃棄物の種類、保管の場所の管理者の氏名又は名称及び連絡先。保管の場所から産業廃棄物が飛散し、流出し、及び地下に浸透し、並びに悪臭が発散しないように措置を講ずること。	○
建設リサイクル法	第104号	分別解体、再資源化の促進	○
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出（建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	○
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出（建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	○
環境基本法	第91号第8条	事業活動に伴う公害を防止し、自然環境の保全措置を講ずる	○
地球温暖化対策の推進に関する法律	第117号第5条	事業活動及び日常生活に関し、温室効果ガスの排出抑制のための措置を講ずるように努める	○
グリーン購入法	第100号第5条	出来るだけ環境物品を選択購入する	○
海洋汚染等及び海上災害	第4条	船舶からの油の排出の禁止	○
	第5条	油による海洋汚染の防止の為の設備設置	
	第6条	油濁防止管理者の選任	
	第9条の2～4	船舶からの有害液体物質の排出の禁止 有害液体物質による海洋の汚染の防止の為の設備設置 有害液体汚染防止管理者の選任	○
高知県環境基本条例第1章第6条事業者の責務	第1項	事業者は、その事業活動を行うに当たっては、これに伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するため、必要な措置を講ずる責務を有する。	○
	第2項	事業者は、環境の保全上の支障を防止するため、物の製造、加工又は販売その他の事業活動を行うに当たって、その事業活動に係る製品その他の物が廃棄物となった場合にその適正な処理が図られることとなるように必要な措置を講ずる責務を有する。	○
	第3項	前2項に定めるもののほか、事業者は、環境の保全上の支障を防止するため、物の製造、加工又は販売その他の事業活動を行うに当たって、その事業活動に係る製品その他の物が使用され、又は廃棄されることによる環境への負荷の低減に資するように努めるとともに、その事業活動において、再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、役務等を利用するように努めなければならない。	○
	第4項	前3項に定めるもののほか、事業者は、その事業活動に関し、これに伴う環境への負荷の低減その他環境の保全及び創造に自ら努めるとともに、県又は市町村が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する責務を有する。	○
土佐市環境美化条例第5条事業者の責務	第1項	事業者は、空き缶等及びごみの散乱防止並びに空き缶等の再資源化の促進について、従業員に対する意識の啓発を図るとともに、当該事業所及びその周辺において環境美化活動に努めなければならない。	○
	第2項	事業者は、その事業活動により地域的美観を損なうことのないように必要な措置を講ずるよう努めなければならない	○
	第3項	事業者は、市がこの条例の目的を達成するため実施する施策に協力しなければならない。	○
冷媒用フロン排出禁止	フロン排出抑制法86条	何人も、みだりに特定製品に冷媒として充填されているフロン類を大気中に放出してはならない	○
浄化槽	保守点検	浄化槽の保守点検、浄化槽の処理対象人数及び処理方式に応じ省令第6条に規定する期間毎に1回以上行わなければならない。	○
	清掃	浄化槽の清掃は、省令第3条に規定する技術上の基準に従い、法令10条第1項の規定により毎年1回以上行わなければならない	○

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

11. 代表者による全体の評価と見直しの結果（平成30年5月～平成31年4月）

<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>昨年と同じく事務所のガソリン使用量、現場では船舶の重油使用量が大幅増大で目標を達成できなかった。</p>	<p>【環境方針】</p> <p>①ガソリン使用量削減 ②重油使用量削減</p>	<p>【環境方針】</p> <p>経費削減等の意識改革は常に持っている。 事務所のガソリン使用量が少しずつは減っているため目標を達成できるようエコドライブを心がけるように指示をした。 全員で常に意識を持って業務に当たるよう指示。</p> <p>船舶の回航・えい航回数が増加仕事量が増えることは望ましいが、エコ操船を引き続き努力を行うとともに回航・えい航をできるだけ回数を減らすよう業務管理を行うよう指示。 また、船底に付着している貝等を除去し負荷を軽減させるよう整備を行う指示。</p> <p>変更の必要性：有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p>
<p>《目標の達成度》</p> <p>今年度は一部の項目が吐出して目標をオーバーしていたが、個々の項目ではほぼ目標をクリアしている。 工事の性質上一定したものがないので個々の工事の管理を十分していくのが今後の課題となる。</p>	<p>《目標》</p> <p>毎年ではありますが、受注量が増える中で、工事内容も変化をしていることで各人が対応できる様に努力を積み重ねていくことが今後の目標である。 また、余裕を持った工程管理を常に意識していくことで周りの環境に順応できる様今後も努力が必要であるし、全員の意識向上がCO₂削減、経費節減につながっていく。</p>	<p>《目標・環境活動計画》</p> <p>目標</p> <p>①天候などに左右されない工程、余裕を持った工程を作成し、工期に余裕を持つことを心がける。 ②エコドライブ励行 ③エコ操船、クレーン負荷操作の削減、アイドリングストップの励行 ④船底に付着している貝等を除去し負荷を軽減させるよう整備する。</p> <p>変更の必要性：有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p>
<p>(周囲の変化状況)</p>	<p>(システムの各要素)</p>	<p>(経営システムの各要素)</p>
<p>日々周辺環境の変化について注視しながら、影響を考えるように努力をする。</p> <p>環境についての要望事項は特にない。</p>	<p>社員同士の意見交換をしながら今後の工程に生かす。 また、上層部は各現場の状況をしっかり把握し、指導する。 毎月1回の上層部打ち合わせにより意識向上。</p>	<p>経費削減を再認識してもらう。 1、今後もエコカーを中心に代替を検討する。 2、余裕をもった工程管理に努めることで使用量の削減となる。(経費削減) 3、全員で冷暖房設備の温度設定管理、 unnecessaryな電源はOFFを意識をもって日々活動をする。 4、重機関係の使用時間の管理 5、船舶の回航・えい航は工程を考慮して無駄をなくすように努力する。 6、船底に付着している貝等を除去し負荷を軽減させるよう整備を行う。</p> <p>変更の必要性：有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p>

☆社会貢献清掃活動等

ロードボランティア活動(道路清掃活動及びカーブミラー磨き)

※ 路線名(県道須崎仁ノ線) 土佐市宇佐地区(宇佐町福浜～東ノ丁まで約1.0km区間)

※ 路線名(市道橋田灘南線延長L=250m)

※ 高知海岸パートナーシップも参加し、今年度の活動は(海の日雨天中止のため)4回実施



カーブミラー清掃
(県道須崎仁ノ線)
高知県管轄



ゴミ拾い
(県道須崎仁ノ線)
高知県管轄



ゴミ拾い
(市道橋田灘南線)
土佐市管轄



ゴミ拾い
(海岸パートナーシップ)
新居海岸
国土交通省管轄



平成30年度
高知県優良建設工事施工者表彰
知事賞受賞

環境に配慮した工事に使用した資機材



鋼管杭に杭先にピットを溶接する作業、火花・煙が発生するので囲いを設置し環境に配慮した。



モルタル吹付時
セメントにクラック防止剤、タフライトRG配合
(クラック制御ポリプロピレン短繊維NETIS登録 KK-100117-V(地球に優しい、緑の環境づくり。TESAC))



鋼管杭を圧入するため騒音・振動を常に観測し、周辺環境に配慮をする。